

高度な加工技術と三方よし精神で、
モノづくりにおける水先案内人を目指す

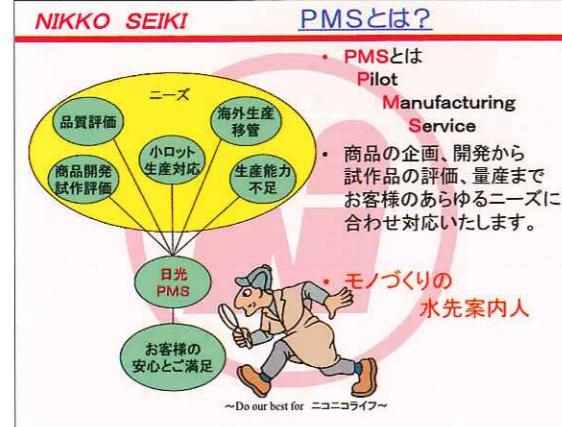
日光精器株式会社 代表取締役社長 中山 享一良さん

大阪府豊中市で電子部品の製造会社としてスタート。現在は、滋賀本工場と岐阜工場の2拠点で、プラスチック部品の加工技術を中心に関開設計から完成品製造まで一貫生産。家電・車載機器・住宅・医療関連商品など多岐にわたる製品を提供している。現在、PMS事業や自社製品の開発製造へと事業展開中。

PMSで、下請けからプライベートブランド創造へ

日光PMSシステムと製品展開について

「日光PMS」(Nikko Pilot Manufacturing Service System)とは、「モノづくりの水先案内人」です。お客様からお声をいただいたら、それをモノづくりのプロである私たちが形にしてお届けするわけです。具体的には、アイディアはもっている、あるいは販売流通は得意だが、モノづくりにはあまり長けていないというお客様から「こういうものが欲しい」というご依頼を受け、私たちが、それを実際の製品にしてお客様のブランド名で提供します。自助具、アルコールチェッカー、美顔器などさまざまな商品を企画設計開発し製造してまいりました。もとも



と、シェーバーの生産を請け負うなど松下電工様(現パナソニック様)の商品を多く作っておりましたが、PMSによって、一社依存体質からより多くのお客様と協業するという戦略的な横展開が可能になりました。通販会社・小売店・問屋様などからの依頼が増え、現在、当社の事業の大きな柱のひとつとなっています。

プラザの応援もあって自社ブランドを確立

NB(日光ブランド)について

リーマンショック時、下請けの受注が減少しました。生き残っていくために自分で作って販売できる自社ブランド製品の必要性を痛感し、医療機器・福祉機器に特化した商品展開を始めたところです。



龍谷大学と提携した福祉機器「ポケットリーチャー」の開発では、産業支援プラザさんの支援で補助金をいただき、淡海ユニバーサルデザイン賞を受賞しました。東京での展示会への出展にもご協力いただき、それまでのB to Bから新たな出会いがあるなど、支援には本当に感謝しています。現在は、医工連携^(※)の分野で支援を受けており、「老眼鏡のように気軽に使える補聴器」を開発中です。さまざまな視点からご意見をもらって試作品に反映させているところです。

医工連携制度を利用して医療機器の開発が事業化につながるような仕組みが、滋賀県特区として具現化されることを待ち望んでいる中小企業は多いと思います。しか



▲製品開発

し、技術者だけだと自己満足に陥りがちになります。プラザさんには、各分野の見識ある方々とのコラボが出来る環境や、活用可能な支援制度などの情報をわかりやすく発信していただけるとありがたいですね。

NB商品として製造販売された携帯用小型吸入器「のどミスト」は、『NICOJA』という新ブランドで大手通販会社のカタログに



▲通販で大ヒット中の携帯用小型吸入器「のどミスト」を始め、家庭用医療機器分野での商品開発に力を注ぐ

※しが医工連携ものづくりプロジェクト創出支援事業

医学・理工学系大学の知的集積を活かし、国の地域中核産学官連携拠点として選定された「しが医工連携ものづくり産学官連携拠点」を核に、競争的資金を活用した医工連携による研究開発プロジェクトの創出とその事業化を支援します。

また、「地域の“ものづくり力”を活かした『滋賀健康創生』特区」の各種制度を活用して、新たな医療・健康管理機器産業の創出を目指します。

DATA

日光精器株式会社 (にっこうせいき)

- 代表者 / 中山享一良(なかやまきょういちろう)
- 従業員数 / 200名
- 本社 / 〒523-0022 滋賀県近江八幡市馬淵町2660
- 設立 / 昭和40年
- 事業内容 / 電気製品・医療機器・車載機器・介護機器・健康機器の開発・製造・販売
- TEL / 0748-37-7581
- URL / <http://www.nikko-seiki.co.jp/>



しが医工連携ものづくりプロジェクト創出支援事業の問い合わせ先

(公財)滋賀県産業支援プラザ 連携推進グループ

住所 : 〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2番1号 コラボしが21 2階

TEL : TEL:077-511-1414 FAX : 077-511-1418 E-mail : iko@shigaplaza.or.jp 担当 : 梅村・篠原